



八戸学院スポーツクラブのバスケットボール部門のチラシ

より質の高いスポーツ教育の提供を目指す
 中学生 6年生 6歳起
 八戸学院スポーツクラブのバスケットボール部門のチラシ

質高いスポーツ教育を

八学光星高 総合型地域クラブ設立へ

「子どもたちの選択肢に」 今月体験会

八戸



総合型地域スポーツクラブの意義について語る佐々木教諭

よつと、八戸市の八戸学院光星高校(小野崎龍一校長)は、同校を母体とした総合型地域スポーツクラブ設立を目指している。モデルケースとしてU-15男子バスケットボール部門を9月に発足させる。発案者の佐々木彰彦教諭(30)は「部活動で大会に出られなかったり、より競技力を高めたい子の新たな選択肢となるクラブにしたい」と意気込んでいる。

(大久保拓地)

地域の子どもたちに新たなスポーツの場を提供し

クラブの名称は「八戸学院スポーツクラブ」。現在はバスケットボール部門のみの活動だが、いずれは中学校の部活動が少ない競技

などを展開していく予定という。競技スキルだけでなく、けがの予防や栄養学など総合的なスポーツ教育を目指す。指導は同校のコーチや、中学校の教員有志が行う。部活動に所属している生徒や引退した3年生も入会できる。

佐々木教諭は部活動を取り巻く現状について「部活に所属していても、部員数の問題で試合に出られない子も多い」と説明。今後は少子高齢化の影響で部活動

の維持・存続はより厳しさを増していくとし、「部活動とうまく共存しつつ、質の高いスポーツ教育ができるクラブが必要」と設立の意義を語った。

バスケットボール部門の活動は週2、3日程度。各学年で7、10人を集め、クラブチームを結成する。8、9、17日に参加費無料の体験説明会を行う。クラブへの参加希望や問い合わせは佐々木教諭(電話090・1208・7164、メール akki55@kh.hachinohe-u.ac.jp)へ。